

「義務教育の完全無償化」はその気になればできる!!

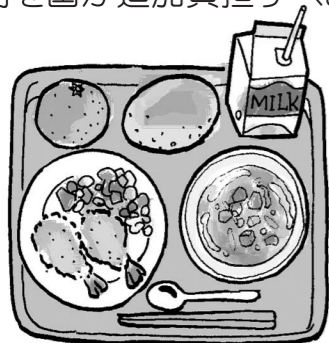
義務教育完全無償化に踏み出した町は・・・

さすが、弘法大師
高野山の町です。

●和歌山県高野町

- ・給食費・医療費・保育料も含めて 義務教育期の無償化を実現しました。
- ・高野町では、「子育てする全ての家庭を地域全体で支えていく」という視点に立ち、子どもが健やかに育つ環境づくりをすすめています。
- ・認定こども園から中学校までの園児、児童生徒の給食も無償です。また、中学校卒業までの医療費や保育料、義務教育（教材、修学旅行・遠足等）も無償化するなど、子育て家庭の暮らしに直結する支援が充実しています。

財界代表の経済同友会は、「すべての子どもの権利として、義務教育期間においては授業料や教材費のみを免除するのではなく、給食費や活動費等の学校生活にかかる諸費用をすべて無償にする」ことを提言。そのために年間 12,200 億円を国が追加負担すべきと主張しています。



鉧路市の次年度予算案でも、地方消費税交付金が 4 億 6 千万円（共産党は消費税増税にはもちろん反対です）、地域社会再生事業費 2 億円が、いつもより多く国から交付されます。市民税・固定資産税などで 3.6 億円増額になります。あわせて 10 億円以上です。財政調整基金・減債基金も、予算編成で取り崩しても 48 億円残ります。財源は確保できます。

村上かずしげ通信 20.02.22

発行 共産党市議団 Tel.23-5212



●京都府伊根町

- ・2015 年から学校給食費、教材費、修学旅行費などの父母負担を全額、町が負担。
- ・日本海に面し、漁業が盛ん。「日本一の給食でたくましい伊根っ子」をスローガンにかがけ、おいしい給食づくりに力を入れています。給食は自校方式。コメ、野菜、鶏肉、卵、魚などは地元産です。
- ・ほかの町から移住してきた方は、「費用の引き落としの心配をしなくて済む。お金だけじゃなくて、みんな子育てしているという安心感が一番ありがたい」とコメント。

憲法では義務教育は無償と定められています。しかし、無償なのは授業料や教科書代などの一部、家庭では結構な経済負担が強いられています。もちろん、経済的に厳しい家庭の就学を支える「就学援助」はありますが、受けていない家庭は自己負担です。とくに重たいのが、学校給食費、本人負担の教材費、修学旅行費です。全国では、これにの費用についても公費で負担する「義務教育完全無償化」の自治体があります。



鉧路市の家庭では負担額はこんなに!?

■学校給食費

小2、中1の鉧路地区の給食費

小学校（年間）48,360 円

中学校（年間）56,050 円

■本人負担の教材費

教材費は学校・学年でかなりの差があります

小学校（年間）1,070- 7,912 円

中学校（年間）1,640-15,240 円

■修学旅行保護者負担

小学校 17,068-23,169 円

中学校 30,700-60,000 円

